

男性のヘアカラーに関する意識調査

男性の「おしゃれ染め」、20代は約3割が実施

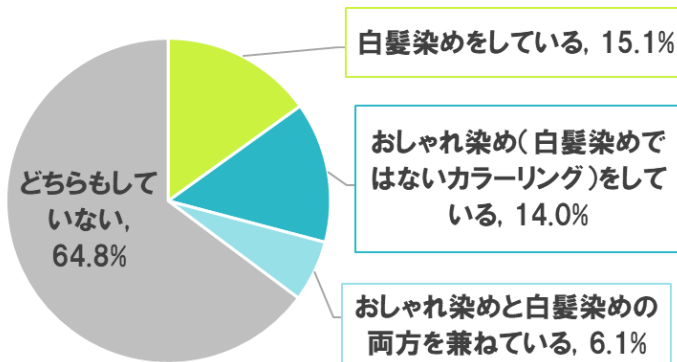
職場での男性のおしゃれ染めは、7割弱が「問題ない」

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、男性の美容意識の高まりを背景に、全国20～49歳の直近1年以内に美容サロンを利用した男性1,500人を対象に「男性のヘアカラーに関する意識調査」を実施致しました。その調査結果を発表致します。

■男性のヘアカラー実施について

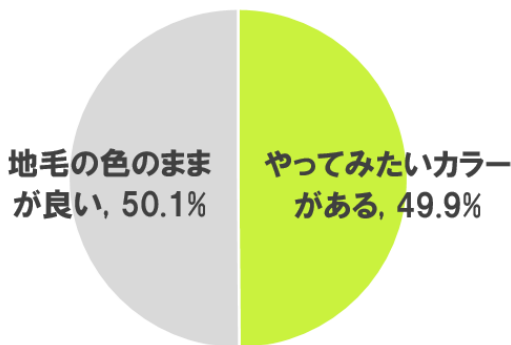
Q. あなたはヘアカラーをしていますか？

（単一回答、n=1,500）



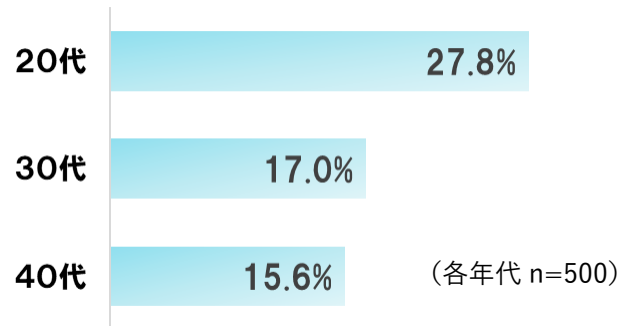
Q. やってみたいカラーはありますか？

（単一回答、n=1,500）



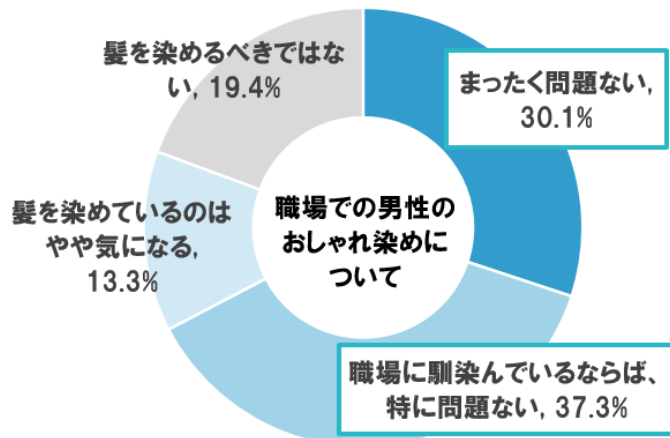
＜おしゃれ染め利用者・年代別＞

「おしゃれ染めをしている」、「おしゃれ染めと白髪染めの両方を兼ねている」の合計



Q. 男性の職場でのヘアカラー（白髪染めではないおしゃれ染め）についてどう思いますか？

（単一回答、n=1,500）



＜研究員コメント＞



『ホットペッパービューティーアカデミー』
研究員 田中 公子

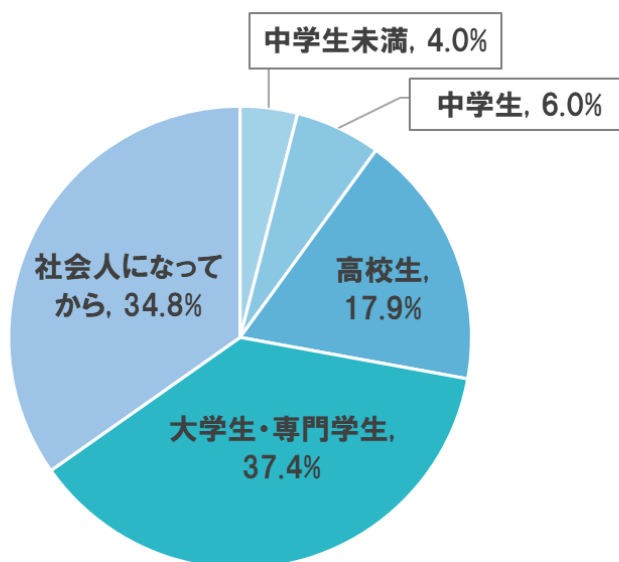
白髪染めではなく、「おしゃれ」としてヘアカラーを楽しむ「おしゃれ染め」について男性のニーズを調査しました。男性の現在の利用は約2割ですが、「やってみたいカラーがある」と答える男性は半数存在し、男性のおしゃれ染めに対するニーズの高さを感じます。今後、男性の美容意識の高まりや、ジェンダーレスの価値意識の浸透を背景に、自己表現やおしゃれの手段として広がる可能性がありそうです。職場でのおしゃれ染めも問題ないと捉える人が多数のため、若年層だけではなく30代、40代の社会人にも取り入れられていくのではないのでしょうか。

■おしゃれ染めの開始時期

おしゃれ染めを始めたのは、「大学生・専門学生」が最多。学生の間におしゃれ染めを開始している人は、6割を超える。

Q. いつごろからヘアカラー（白髪染めではないおしゃれ染め）をしていますか？

（「おしゃれ染めをしている」、「おしゃれ染めと白髪染めの両方を兼ねている」回答者、単一回答、n=302）



■おしゃれ染めの色

最も多い色味は「ブラウン」。次いで「ブラック」、「アッシュ」が続く。

Q. 現在のヘアカラーは何色ですか？一番近い色味を教えてください。（TOP5）

（「おしゃれ染めをしている」、「おしゃれ染めと白髪染めの両方を兼ねている」回答者、単一回答、n=302）

順位	色味	割合 (%)
1位	ブラウン	39.1
2位	ブラック	13.9
3位	アッシュ	9.9
4位	ブリーチ	8.6
4位	グレージュ	8.6

Q. やってみたいカラーはありますか？（TOP5）

（複数回答、n=1,500） ※「地毛の色のままが良い」（50.1%）以外の回答のランキング

順位	色味	割合 (%)
1位	ブラウン	19.2
2位	アッシュ	16.5
3位	シルバー	11.9
4位	ブリーチ	9.9
5位	ゴールド	8.3

< 研究員からのコメント >

おしゃれ染めをしている人が現在染めているカラーの1位は「ブラウン」、2位が「ブラック」と、ナチュラルなカラーのニーズがありそうです。また、「やってみたいカラー」の2位「アッシュ」も透明感のある黒髪に見せることもできるので人気があると思われます。3位の「シルバー」は、透明度の高い髪色で若年層の女性にも人気のある髪色です。おしゃれ上級者の印象もありますが、白髪との馴染みも良いため「自然な白髪染め」としても利用できます。このため、若年層だけではなく30代、40代の男性にも「やってみたい」というニーズがあるのではないのでしょうか。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』 研究員 田中 公子)

■ 調査概要

調査名 : 男性のヘアカラーに関する意識調査

調査手法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2023年3月17日～3月22日

調査対象 :

直近1年以内に美容サロン（ヘアサロン、エステサロン、ネイルサロン、リラクゼーションサロン、アイビューティーサロン）のいずれかを利用した全国の20～49歳男性1,500人を回収（各年代500人ずつ）

※集計値は四捨五入により、単一回答における合計が、必ずしも100.0%にならないことがある

■ 『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに2014年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センサスなどの「調査研究」、訪問美容・女性活躍・SDGsなどの情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ : <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート : <https://www.recruit.co.jp/>